

○プリモボラン錠 [内]・▼プリモボラン・デポー筋注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】メテノロン酢酸エステル metenolone acetate

【分類】蛋白同化ステロイド剤

【単位】○5mg/錠, ▼100mg/A [1mL]

【常用量】■内服：10～20mg/日 ■注射：1回100mgを1～2週間ごとに筋注

【用法】分2～3

【透析患者への投与方法】設定されていない(1)が、減量の必要はないと思われる(5)

【保存期腎不全患者への投与方法】設定されていない(1)が、減量の必要はないと思われる(5)

【特徴】男性化作用を弱めた蛋白同化ステロイド剤。肝障害の原因とされているC17- α 位にアルキル基を有していない。肝及び各組織において生体内蛋白合成を促進させ、生体における体蛋白の異化を抑制する。N貯留作用、Ca・P貯留作用、造血作用等が確認されている。

【主な副作用・毒性】過敏症、AST/ALT上昇、悪心、嘔吐、女性の男性化(嘎声、多毛、月経異常、色素沈着)、アクネ、耐糖能異常など

【安全性に関する情報】男性は前立腺の検査を定期的に行う。女性は変声の可能性を説明。長期投与で肝機能障害→肝機能チェック(1)

【吸収】高いと思われる(1)

【F】資料なし(1)

【tmax】5hr(1)

【代謝】エステルが加水分解され、肝でグルクロン酸抱合、硫酸抱合される(1)

【排泄】尿中に21～47%、糞便中に14～22%が回収される(1)尿中にはグルクロン酸抱合体が硫酸抱合体よりやや多い(1)

【t1/2】21hr(1)

【蛋白結合率】資料なし(1)

【Vd】資料なし(1)

【MW】344.49

【透析性】資料なし(1)

【O/W係数】資料なし(1)

【相互作用】ワルファリンの効果増強の可能性(1)

【備考】アンドロゲン依存性腫瘍、妊婦、妊娠の可能性のある女性には禁忌(1)男性では前立腺の検査を定期的に行い、女性では変声の可能性を告げておく(1)

【更新日】20160116

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。